



「危険物施設における保安の充実方策のあり方検討会」の発足

危険物保安室

1 背景

危険物施設における事故件数は近年増加傾向が著しく、平成18年においても過去最高を更新しています。また、想定される東海地震、東南海・南海地震などのプレート境界型の大地震や首都直下地震の切迫性も指摘されており、危険物施設の被害等も懸念されています。このようなことから、危険物施設における保安レベルの向上を図るとともに、多発する危険物施設の事故原因の究明を推進し、地震時等における被害軽減や事故防止等の保安の充実を図ることが極めて重要となっています。このため、消防庁では、危険物施設における保安の充実方策のあり方について総合的に検討することとしました。

2 検討会について

(1) 検討事項

- ・危険物施設に係る事故防止対策のあり方について
- ・複雑多様化する危険物施設における事故原因究明のあり方について
- ・自主保安推進方策のあり方について
- ・その他危険物施設の保安対策の充実に関すること

(2) 検討スケジュール

- ・第1回 平成19年7月6日開催
- ・第2回 平成19年9月18日開催
- ・第3回 平成19年11月開催予定

(3) 検討会の構成委員

危険物施設における保安の充実方策のあり方検討会委員

(五十音順・敬称略)

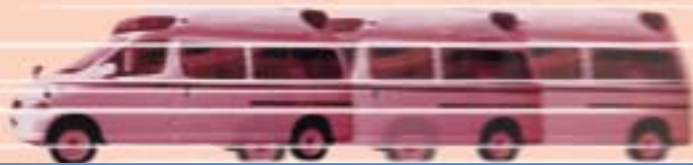
朝倉 紘治	財団法人エンジニアリング振興協会研究理事
伊藤 英男	川崎市消防局予防部長
伊藤 正夫	市原市消防局次長
大谷 英雄	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授
尾崎 研哉	財団法人全国危険物安全協会常務理事兼 企業防災対策室長
北村 吉男	東京消防庁予防部長
次郎丸誠男	危険物保安技術協会特別顧問
鶴田 俊	総務省消防庁消防大学校消防研究センター 技術研究部特殊災害研究室長
西本 義美	堺市高石市消防組合消防本部予防部長
平野 敏右	座長・千葉科学大学学長
藤田 哲男	石油化学工業協会 保安・衛生委員会消防防災専門委員長
藤原 肇	大阪市消防局予防部長
松木 邦夫	社団法人日本化学工業協会環境安全部部长
松原 美之	総務省消防庁消防大学校消防研究センター 研究統括官
横山 健一	石油連盟消防・防災部会長
龍角 英治	北九州市消防局予防部長



危険物施設における保安の充実方策のあり方検討会の模様



検討会の趣旨説明を行う大石利雄消防庁次長



「救急業務高度化推進検討会」の発足

救急企画室

1 検討会の必要性

全国の救急自動車の出場件数は平成18年中に523万件と前年に比べて初めて減少しましたが、少子高齢化や独居・核家族化が進むなど、今後も救急需要は増加するものと見込まれます。

こうした救急需要によって、救急自動車の現場到着所要時間が遅れる傾向にあり、救命効果の向上を図るためには、救急業務の更なる高度化を図る必要があります。

特に近年、救急救命士が行う救急救命処置の範囲が拡大される中で、救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を医学的観点から保障するメディカルコントロール体制の充実強化が不可欠となっています。

消防庁では、真に緊急を要する傷病者の対応が遅れることのないように、平成17年度には「救急需要対策に関する検討会」を、平成18年度には「救急業務におけるトリアージに関する検討会」をそれぞれ開催し、検討を進めてきました。その結果、緊急度・重症度が高い救急事案に対して、より迅速な対応が可能となるように、トリアージに関しては引き続き検討を行い、運用体制を確立する必要があると提案されました。

以上のことを踏まえ、消防庁では、救急業務の高度化に関する諸問題を検討するため、今年度も引き続き標記検討会を開催することとしました。

2 第1回開催

平成19年7月19日、東京都千代田区の全国町村会館において「救急業務高度化推進検討会」を開催しました。

概要は次のとおりです。

1. 救急業務におけるトリアージについて

(1) 救急業務におけるトリアージに関する検討会報告書に



救急業務高度化推進検討会の模様

ついて

(2) 救急業務におけるトリアージについて消防本部からの報告

・横浜ディスパッチシステム検討結果報告（横浜市安全管理局）

・現場における救急搬送トリアージの試行について（東京消防庁）

・東京消防庁救急相談センター概要（東京消防庁）

・AED救急活動支援について（札幌市消防局）

2. メディカルコントロール体制等について

(1) 全国メディカルコントロール協議会連絡会について

(2) メディカルコントロールについての消防本部からの報告

・京都市におけるメディカルコントロール体制について（京都市消防局）

3. 今年度の検討内容について

(1) 救急業務の高度化推進にあたって（日本医師会）

3 今後の予定

救急業務高度化推進検討会に「救急業務におけるトリアージ」と「メディカルコントロール体制のあり方」の作業部会を設け、個々に検討を行い、本会については年度内に3～4回開催する予定です。次回の開催が決定次第、各関係機関には情報提供いたします。

救急業務高度化推進検討会委員

（五十音順・敬称略）

石井 正三	日本医師会常任理事
大泉 淳一	総務省消防庁救急企画室長
奥田 善治	京都市消防局安全救急部長
川手 晃	救急振興財団副理事長
坂本 哲也	帝京大学医学部救命救急センター教授
佐藤 敏信	厚生労働省医政局指導課長
島崎 修次	杏林大学医学部救急医学教授
鈴木 英昭	札幌市消防局警防部長
高橋 規夫	横浜市安全管理局警防部長
中川 和之	時事通信社編集委員
野口 英一	東京消防庁救急部長
樋口 範雄	東京大学法学部教授
南 砂	読売新聞東京本社編集委員
山本 保博	座長・日本医科大学救急医学主任教授
米村 滋人	東北大学大学院法学研究科准教授